

世田谷区
都市デザイン
フォーラム
2024

地域風景資産の これまで×これから



令和6年
3/20 水・祝
10:00~19:00

会場 三茶しゃれなあとホール
5階 スワン+ビーナス
世田谷区太子堂2-16-7
案内図は裏面

プログラム

申込
必要

第1部 座談会 10:30~12:30

テーマ「地域のつながりと風景づくり」

申込
不要

第2部 上映会 14:00~17:00

テーマ「区民がつくる地域風景資産」

申込
不要

全日 展示会 10:00~19:00

テーマ「地域風景資産と活動団体」

詳しい内容は裏面をご覧ください

すべて
参加無料
です

申込
方法

第1部 座談会の申込方法

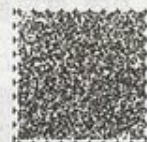
世田谷区都市デザイン課へ電話またはファクシミリでお申し込みください。

*電話の場合は、平日8:30~17:00にお電話ください

*ファクシミリの場合は、①行事名②住所③氏名④電話番号⑤手話通訳等の配慮を希望される方はその旨を記入して送信してください

主催・申し込み・問合せ先 世田谷区 都市整備政策部 都市デザイン課
電話 03-6432-7153 ファクシミリ 03-6432-7996

申込み締切
3月1日(金)



双子の給水塔が
聳え立つ風景

産花恒春園
花の丘

《上北沢の桜並木》

上北沢3丁目を中心とする住宅地は関東大震災の後、今から約100年前に分譲されました。

住宅地の南北の中心道路に街路樹として桜が植えられ、「現在の桜並木」を形づくりました。

現在の桜は約45本ですが、その中で最も古いものは昭和20年代、戦後すぐに植えられたものです。

当初の樹種はソメイヨシノだけでしたが、時代とともにジンダイアケボノ、オモイガワ、シロタエが植えられ、樹種の違いによる楽しみも増しました。



上北沢桜並木会議

連絡先 : kamikitazawa.sakura@gmail.com

HP : <https://www.sakuranamiki.org/>



上北沢桜並木会議 <http://www.sakuranamiki.org/>
上北沢桜並木会議

ソメイヨシノ

エドヒガンとオオシマザクラの交雑種で江戸時代末期に作り出された
(江戸染井村：現 豊島区)
そもそもの原木は上野恩賜公園にある一本だけで、あとはクローンである

日本花の会『桜図鑑』より

ジンダイアケボノ

- ◆東京都神代植物園に原木がある
- ◆エドヒガンの実生苗のうち的一本
- ◆ワシントンDCに送ったサクラを交雑してできた akebono (日本名：アメリカ) を逆輸入して日本で接ぎ木して育った
- ◆ツボミはエドヒガン系で毛が生え、赤くなるが咲くと白っぽくなる
- ◆ソメイヨシノより2日くらい早く開花する

オモイガワ

栃木県小山市で栽培されていたジュウガツザクラ (母体はエドヒガンとマメザクラ) にソメイヨシノの花粉が交雑して誕生したと推測される (1959年)
近くを流れる「思い川」にちなんで名付けられた

日本花の会『桜図鑑』より

シロタエ

- ◆サトザクラ系 (オオシマザクラを基にして改良)
- ◆白色の八重咲きの代表的なサクラ
- ◆東京府江北村 (現 足立区) の荒川堤で栽培されていた品種

日本花の会『桜図鑑』より



画像診断

腐朽空洞率%

■	3回目	2015年7月14日
●	4回目	2016年9月30日
▲	5回目	2018年1月18日
★	6回目	2019年7月22日
◆	7回目	2022年1月17日

石井樹木医診断(2024年3月9日)

桜木の評価

診断指導：石井誠治樹木医

診断日：令和6年3月9日

*：地上高1.3mの位置の胴周囲(H24⇒H25⇒H26⇒H27⇒H28⇒H29⇒H30⇒H31⇒R2⇒R3⇒R4⇒R5⇒R6) [2月4日調査]

区設定 コード	石井樹木医 判定 [A → C] (良) → (悪)	2024(R6)年3月 評価結果	今後の処置
1	B	・歩道側の根から幹に腐朽が進んでいる。	要観察
2	A	・30年未満の桜である。 ・Bランクに近づいている。 ・根は元気。 ・コブキサルノコシカケが有る。	根が押している植え木の改良
50	A	・2017年1月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・環境が良いので順調に生育している。 ・*胴周囲 27.5 (H29)⇒28.5⇒31.5⇒35⇒37.5⇒39⇒42⇒43 cm	
49	B	・樹齢は65年程度。 ・幹の内部は空洞化しているが、元気な根で守られている。 ・2019年に空洞部分をふさぐため胴巻きをした。 ・幹から直接出ている小枝は将来幹を作っていく枝である。	数年後には伐採候補
48	A	・2018年5月伐採。 ・2019年2月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 21 (R2)⇒29⇒35.5⇒41.5⇒48 cm	
47	***	・2013年7月伐採 (駐車場出入りに近いので植え替えはしない)。	
46	A	・成長は比較的早く幹は太くなっている(30年くらいの桜)。 ・ヤマザクラ系は横シマ模様だが、ソメイヨシノは幹が太くなると縦シマ模様になる。	先端が曲がっている枝の伐採
45	B	・樹齢60年以上。 ・以前腐っていた幹に、土と苔で不定根を誘導して根が太くなった。 ・若い枝は重心を保つように伸びている。	植え木の改良 経過観察
44	***	・2017年8月伐採。 ・新規植栽は未定。	
3	A	・2015年11月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・やや成長が遅い。 ・植込みの土の中にきのこの胞子が含まれているので、根が成長すると感染しやすい土地である。 ・*胴周囲 15 (H28)⇒19⇒25⇒29.5⇒33⇒34.5⇒36⇒37.5⇒37.5 cm	
4	A	・2018年7月伐採 (以前はオオシマザクラ)。 ・2019年2月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 20 (R2)⇒25.5⇒32.5⇒39⇒44.5 cm	
5	***	・2007年ナラタケモドキによって根株腐朽し枯死。 ・当面新規植栽は無し。	
6	***	・2022年12月伐採	
7	B	・2015年11月27日植樹を改良。 ・上部の枝まで水の上りが悪く、衰退が進んでいる。 ・*胴周囲 160⇒161⇒162.5⇒165⇒166⇒167⇒168 cm⇒×	上部の枝の整理
8	B	・コブ病もある ・不定根は育っている。	No.51と重なっている枝を剪定 整理する必要がある
9	B	・戦前からの桜の可能性有り。 ・腐朽もあり、やや危ない木となりつつある。	樹形が悪いので枝のバランスを整 える必要がある
43	A	・2017年1月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 29 (H29)⇒31⇒33.5⇒37⇒39⇒41⇒(南側)42⇒(南側)43 cm	
42	A	・2011年12月移植。 ・表面はNo.43と比較して根が成長し出ている。 ・枝先にコブ病がある。 ・*胴周囲 21.5⇒25.5⇒34⇒39⇒44⇒48.5⇒49⇒50.5⇒53⇒54⇒56⇒ 56.5⇒57 cm	
41	A	・2016年2月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 11 (H28)⇒15⇒22⇒29⇒36⇒41⇒45.5⇒52⇒58 cm	
40	A	・2019年「シロタエ」が突然枯れた。 ・2019年2月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 14 (R2)⇒17⇒21⇒27⇒33 cm	
39	B	・内部腐朽が進んでいる。 ・根が腐っており、突然枯れる可能性がある。	これからの枝の展開を見守りたい
38	B	・A⇒Bランクへ。 ・不定根誘導をしたが、良いものは少ない。 ・上部の枝に衰弱が目立つ。	
51	A	・2005年11月移植。 ・幹の曲がり方が将来的には心配。 ・*胴周囲 45⇒52⇒62.5⇒68.5⇒ 74⇒79.5⇒84⇒89⇒95⇒98.5⇒103.5⇒(二股の北側)107⇒(二股の北側)110 cm	
10	A	・以前の空洞は胴巻きをして手入れしたので、樹形は悪いが樹勢は良好。 ・不定根が良く育ち、幹がよみがえっている。	間隔が狭い
11	B	・枝は少なく樹形は左右の桜の影響が出ている。 ・2016年6月16日植樹を改良。	上部の枝を整理する必要がある
12	B	・左右の桜の影響で樹勢は悪い。	
13	B	・軽減剪定してきたが、コブ病が多く出ており樹形は悪い。	剪定後の経過観察
14	A	・2005年11月移植。 ・とくに問題はない。 ・枝葉がだいぶ増えてきた。 ・*胴周囲 38.5⇒44⇒ 53⇒59.5⇒65⇒73⇒81⇒84.5⇒89⇒95⇒99⇒104.5⇒108 cm	
15	B	・回復途中。 ・若い木だが、樹勢は悪い。 ・*胴周囲 75 (H28)⇒77⇒80⇒80⇒85⇒85⇒85⇒(コブの部分)85⇒(コブの部分)85 cm	
16	***	・2013年7月伐採。 ・新規植栽は無し。	
17	B	・A⇒Bランクへ。 ・2005年11月移植。 ・桜にとって周辺の環境は良くない。 ・成長は悪い。 ・*胴周囲 39⇒43⇒55⇒57.5⇒59⇒60⇒61⇒61⇒62⇒62.5⇒62.5⇒63⇒65 cm	
37	A	・2020年2月移植。 ・[オモイガワ] ・*胴周囲 15.5 (R2)⇒19⇒23⇒27⇒(横枝の下)32.5 cm	
36	A	・2023年6月伐採。 ・2024年3月移植。 ・[ジンダイアケボノ]	
35	***	—	
34	B	・幹がデコボコになり、腐れが出てきている。 ・内部腐朽が進んでいる。	上部の枝の整理
33	***	—	
32	A	・2017年1月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・2017年に移植した3本の中では最も元気がない。 ・*胴周囲 25.5 (H29)⇒26.5⇒28⇒29.5⇒31⇒35⇒39.5⇒42 cm	
31	B	・根元は露出している。 ・上部を剪定して軽くしたが、樹勢は悪くなっている。	樹勢回復を図りたいが、当面の手 だてがない
30	A	・2020年2月移植。 ・[シロタエ] ・*胴周囲 16 (R2)⇒18⇒23⇒29⇒35 cm	
18	B	・A⇒Bランクへ。 ・幹はかなり傷んでいるが、不定根で守っている。 ・先端の枝にはコブが見られる。	
19	B	・良い枝が多く出ている。 ・幹には内部腐朽がある。 ・コブキサルノコシカケが発生。	
20	C	・戦前からの桜(?)。 ・下部周囲にベッコウダケが繁茂している。 ・花つきの良い枝もある。	断面診断では伐採候補だが、経過観察
21	B	・A⇒Bランクへ。 ・内部は腐朽している可能性。 ・上部の枝に衰えが見える。	
22	B	・A⇒Bランクへ。 ・枝のバランスが崩れている。 ・No.23に寄りかかる形である。	経過観察 横に伸びた太い枝は剪定が必要
29	A	・2013年3月移植。 ・*胴周囲 17.5 (H27)⇒19.5⇒23⇒26⇒31⇒34.5⇒38⇒42⇒45.5⇒49 cm	
28	A	・2019年2月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 21.5 (R2)⇒27.5⇒41⇒48.5 cm	
27	C	・不定根は伸びたが、ほとんど枯れている。	今後植え替え予定 (予算次第)
26	B	・亀裂があり、樹形が崩れている。 ・Cランクに近づいている。	
25	A	・2019年2月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲 14.5 (R2)⇒17.5⇒21.5⇒26.5⇒32 cm	
24	B	・上部に枯れ枝がある。 ・不定根は成長しているが、内部は腐朽している。	
23	A	・樹皮からみて20数年の桜か。 ・西側に亀裂があるが、とくに問題はない。 ・*胴周囲○⇒108⇒113⇒118⇒124⇒128⇒132 cm⇒×	



「上北沢は大きく変貌しようとしています」

— 上北沢桜並木会議ではこれからも地元の情報をお届けします —

上北沢桜並木会議では、地域が抱える様々な問題を皆で考え、そのための情報を発信します。安全で住みやすい街、人と人の絆を大切にする街にするため、実践的な活動をひとつひとつ着実にやっていきます。









上北沢桜並木会議活動実績



平成15年(2003年)		烏山ネット・わあ〜く・ショップの会合において、上北沢の桜並木が痛んでいるので、みんなでそれを守ろうという声があがる
	5月(2回)	現場見学(区、専門家、造園業者、ネット・わあ〜く・ショップメンバーと住民)
平成16年(2004年)	4月	桜まつりに前後してアンケート調査を実施(2006年第3回まで)
	7月	桜まつりに参加(以降2018年まで)
	9月	活動団体名称を『上北沢桜並木会議』として、正式に発足
	12月	他地域との交流(成城学園前桜並木会)
平成17年(2005年)	3月	「上北沢桜並木会議」のホームページを立ち上げ
	9月	他地域との交流(くにたち桜守(国立市))
平成18年(2006年)	10月	引越トラックにより桜並木の一部に大きな被害が出ました
	11月	区民センター文化祭において、石井誠治樹木医が講演
平成19年(2007年)	3月	上北沢3丁目・4丁目の一部が「路上禁煙地区」に指定された
	4月	第1回「街歩き」を開催
	11月	区民センター文化祭において、相場芳恵氏(東京農工大学名誉教授)が講演(テーマ:「ソメイヨシノの不思議」)
平成20年(2008年)	3月	「桜並木を守る奮闘記」(桜並木管理マニュアル)を発行
	5月	第2回「街歩き」を開催
	3~5月	京王線の高架化や都市計画道路215号線等の検討会を実施
	10月	第3回「街歩き」を開催 他地域との交流:「地域のさくらを守る さくらサポーター入門講座」
	12月	世田谷区「第3回生涯現役フェア」に出展参加(地域活動員の募集) 「烏山地域交流会」に参加(「絆再生支援事業」の一環、広報活動)



平成21年(2009年) 	3月	桜並木の兄弟をつくるための「接木」を行いました 「レッツ 上北沢まちあるき！」を発行
	7～9月	「親子さくら博士教室」を開催（3回開催）
	12月	桜並木の画像診断が行われた（桜並木会議立合い協力：第1回）
10月～平成22年(2010年)1月		桜並木の東側で水道管の入れ替え工事が行われました
平成22年(2010年) 	4～12月	接木（小金井公園後継樹育成苗圃で上北沢桜並木の子供を育成） 12月21日八幡山駅近くの「はらっぱ広場」へ移植
	12月	町田市玉川学園町会との懇談会 桜並木の画像診断（2回目）が行われた 玉川大学山岡准教授ゼミの学生と石井樹木医（桜並木会議立合い協力）
平成23年(2011年)  	1～12月	接木の養生（八幡山はらっぱ広場）
	2月	「桜のまちづくりサミット」参加（小金井市桜大復活祭）
	3月	テレビ朝日「ちい散歩」における桜並木の撮影に協力
	5月	桜並木のヒコバエ・胴吹きの伐採（以降2016年まで毎年実施）
	6月	桜並木の害虫（コスカシバ）退治（以降2016年まで毎年実施）
	10月	世田谷区環境表彰 対象者に選ばれました（29日表彰式）
	11月	（財）日本さくらの会 功労者に選ばれました（4日表彰式） 上北沢区民センター文化祭に出展
平成24年(2012年)	1月	世田谷区「風景づくりフェスタ2012年」に出展しました
	1～12月	接木の養生（八幡山はらっぱ広場）⇒花が咲きました（4月）
	11月	上北沢区民センター文化祭で「旧上北沢村を見る」を発表
平成25年(2013年) 	2月	はらっぱ広場で養生していた接木を上北沢小学校へ移植
	9月	桜並木の測量（桜の根元を中心とした平面的な測量）
	11月	上北沢区民センター文化祭で「立体切り絵でみる昔の上北沢」を発表 他地域との交流：成城地域の“成城憲章”の学習と街あるきの実施
平成26年(2014年) 	3月	世田谷区都市整備部都市デザイン課が主催した「風景づくりフォーラム」に参加し、上北沢桜並木の広報活動の実施
	10月	地域風景資産の標識設置
	11月	上北沢区民センター文化祭に出展
平成27年(2015年)	2月	「NPO法人東京樹木医会」が主催した『さくらシンポジウム』に参加 （発表とディスカッション）
	7月	桜並木の画像診断（3回目）
平成28年(2016年)	4月	JUDI（都市環境デザイン会議）に参加（発表とディスカッション）
	9月	桜並木の画像診断（4回目）
平成29年(2017年)	3月	目黒区「サクラ保全事業報告会」に参加（発表とディスカッション）
平成30年(2018年)	1月	桜並木の画像診断（5回目）
令和1年(2019年)	7月	桜並木の画像診断（6回目）
令和3年(2022年)	1月	桜並木の画像診断（7回目）

毎年の恒例行事

❖花芽観察会（2月～3月の半日）



❖落花の清掃（町会との共催）

❖落葉の清掃（上北沢小学校・福音寮からの協力）



❖世田谷区との連携

・都市デザイン課（地域風景資産関連）



・烏山公園管理事務所（桜並木の見守り）

【連絡先】

上北沢桜並木会議 事務局 長 峰 博明

上北沢1-33-18 TEL090-3914-1145

HP <http://www.sakuranamiki.org/>

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

kamikitazawa.sakura@gmail.com